

新春白部

発行
日本共産党
春日部市委員会
春日部市粕壁東
6丁目7-12
電話 748-5159
FAX 748-5179

立憲野党がめざす新しい政治って？

「16区市民の会」「政治を語る会」を開催

6月23日(日)「立憲主義をとりもどす16区市民の会(代表 牛山積氏)」は、衆議院選挙での野党共闘をめざし「政治を語る会」を開催し、61人が参加しました。衆議院埼玉16区予定候補者のなかほり健氏(日本共産党)と三角そなた氏(立憲民主党)が参加しました。テーマに沿って、お二人の考えを聞き、参加者との意見交換を行いました。意見交換の要旨は以下の通りです。

「5つの基本政策についての候補者の考えと抱負」

三角氏

防衛費を2倍にし攻撃型ミサ



会場からの質問に答える予定候補者

イルを配備するなど、専守防衛ではなくなっている。北朝鮮のミサイル発射などの情報を正確に把握して、先制攻撃とならないようにする。物価高騰対策として現金給付を提案したが、首相は減税にこだわりの時期が遅れ

5つの基本政策

(安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合(2023/12/7))

- 1、憲法も国民生活も無視する軍拡を許さない
- 2、物価高、燃料高騰、円安、不公平税制を放置せず、市民の生活を守る経済政策を行う
- 3、だれもが個人として尊重されるよう、ジェンダー平等・人権保障を実現する
- 4、将来世代へと繋げるために、気候変動対策を強化し、エネルギー転換を推進する
- 5、権力の私物化を止め、立憲主義に基づく公正で開かれた政治を行う

永堀氏

職員負担も多い。速やかな対応が必要だと考えている。大軍拡の始まりは安保3文書であり、戦闘機の輸出を解禁するところまでできてしまった。日本共産党は、ASEAN諸国と協力し、平和外交で東アジアの平和を築いていきたい。経済政策を提案し、大企業の内部留保に時限的に課税し、その財源を中小企業の支援等に回します。

インボイス、非正規労働

働など会場より質問続々

- 会場からの質問を紹介します
- ①法人3税の税率が下がっているが、消費税減税こそ必要
 - ②インボイスが個人事業主を苦しめています。廃止すべき
 - ③マイナンバーカードは任意ですが、マイナ保険証が強行されようとしています。現行の保険証は残すべき
 - ④春日部市は指定管理者制度を導入し、ワーキングプアを作っています。非正規労働者を正規労働者に
 - ⑤国は消滅自治体を発表しているが、少子化対策、子育て支援が求められている。
 - ⑥生活困窮への対策を

<生活相談は日本共産党へ>

並木としえTEL737-4576 大野とし子TEL746-6136 今尾やすのりTEL761-3676 木下みえ子TEL734-4677

日本共産党市議団ホームページ <https://www.jcp-kasukabe.jp/>



並木としえ議員一般質問

火災の被災者に 生活再建の支援を！



6月10日、並木としえ議員は①火災被災者に生活再建のための支援を ②住み続けるための「足」の確保へデマンド交通の導入をの2点について一般質問をおこないました。

**火災63件に対し、
見舞金は11件**

今年4月10日、市内増富で6棟全焼という火災が発生しました。その後も火災が相次いでおり、亡くなられた方もいらっしゃいます。火災は予防できますから、

発生させないことが何よりですが、放火や類焼は防ぎようがなく、突然、住まいと財産を失うわけですから、生活再建のためには行政の支援がどうしても必要です。

市の火災見舞金は全焼で10万円、半焼で5万円、死亡10万円で、令和5年度は火災件数63件に対して全焼9件、半焼2件。令和4年度は火災35件に対し、全焼8件。令和3年度は火災46件、全焼10件、半焼1件、死亡2件で、大半は見舞金の対象にもなっていません。

**宿泊費や家財道具、
住宅撤去費の補助を**

焼け出されたその日から住むところがありません。

せめて、数日間のホテルなどの宿泊費を補助できないか。ペットのいる方は市営住宅で対応できないか。最低限の家財道具や焼けた住宅の撤去・処分費用についてはどうか、と質し補助の充実を求めました。

都市整備部長は「市営住宅を一時的に貸し出し生活再建を支援しているが、動物の飼育は禁止しているため火災の一時入居の方も同様」と答え、福祉部長は「宿泊費や家財道具については災害見舞金を、住宅の処分費用についてはご自身の火災保険で対応していただいているものと考え、補助していない」と答弁しました。

**くらしの足確保する
公共交通の充実を**

春バス第4次運行がスタートし、半年が経過しました。

第4次は、大幅な路線廃止で不便になる方が増えることを前提に「効率化」を目標しました。しかし、市民は春バスに効率化を求めてはいないし、市民一人ひとり誰もが行き来と住み続けるための「足」を確保することが公共交通の本来の役割であって、赤字を理由に路線の廃止・縮小は本末転倒と主張し、くらしの足を確保するための充実を求めました。

都市整備部長は「ルートの変更や廃止に伴い、交通空白地域が広がっており、その対策が課題と認識している。庄和地域で実証実験を実施しているタクシー代補助の結果を検証するとともに、新たな交通手段の導入を含め、交通空白地域の対策を検討してまいりたい」と答弁しました。

休日の当番医

市立医療センター TEL735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外科系 小児救急電話相談 #7119

6/30(日)春日部厚生クリニック(内科系)下蛭田125-1TEL754-4313 神田医院(小児科系)上蛭田127-1 TEL754-0854 みやざわ耳鼻咽喉科(外科系)中央1-52-8TEL745-8733

7/7(日)渡辺内科(内科系)米島1195-10TEL746-3219 豊春内科小児科クリニック(小児科系)上蛭田681TEL760-2300 渡辺クリニック(外科系)上蛭田128TEL754-3666